



### 3. 活動内容

(1) 本校は、2015年度に開催された「小中一貫教育全国サミット in 奈良」において、会場校として、全国に本校の学びを発信しました。本中学校区は1小1中という地域であり、また、平城宮跡・唐招提寺・薬師寺という校区に3つの世界遺産を有するという点を踏まえ、本中学校区の9年間の柱を、世界遺産学習（ESDの理念を大いに踏まえた、奈良市の地域学習の呼称）に設定しています。

全国サミットの際に作成した、3年生から6年生までの4年間の学びの一覧に加え、9年間の学習が一覧になった評価規準を以下に記します。

学年	教材名・題材名	学習活動
3年	もっと知ろうよ都跡の町を	校区たんけんに行く 都跡の町の世界遺産について知る
	もっと知ろうよ都跡の町を2	平常宮跡、薬師寺、唐招提寺を見学
	都跡の町にタイムスリップ もっと知ろうよ都跡の町を3	お年寄りから様々な知恵を学ぶ 校区の素敵を発信
4年	都跡不思議発見1～平城宮跡～	平城宮跡の歴史や保存に関わった人について知る
	都跡不思議発見2～薬師寺～ ユネスコスクール交流に向けて	薬師寺の歴史や保存に関わった人について知る 3学期のユネスコスクールについて自分たちの考えをまとめる
	ユネスコスクール交流 2分の一成人式	他県のユネスコスクールと交流し、お互いの町の宝物について伝え合う 2分の1成人式をとおしてこれまでの学びや地域について保護者に発表する
5年	世界遺産学習1	世界遺産とは何かについて学ぶ ゲストティーチャーから地域の世界遺産についての話を聞く
	世界遺産学習2	地域以外の世界遺産を知る 世界遺産についてまとめる
	世界遺産学習3	世界遺産を受け継いでいくために、自分たちにができることを考える
6年	リーフレットで発信1～飛鳥編～	春の遠足で行った飛鳥村についてリーフレットでまとめ、発信
	平和学習 リーフレットで発信2～広島編～	修学旅行の事前学習「戦争とは」「平和とは」 修学旅行で行った広島についてリーフレットでまとめ、発信
	ありがとう都跡	卒業を前に自分たちの地域をもう一度見つめなおし、自分たちにできることを考え、実際に行動に移す

区分	学年	関心・意欲・態度	思考・表現	知識・理解・気付き	重点対象		
					人	自然環境	ものこと
しる	1	自分や友達、身の回りのことに関する学習について、積極的に取り組んでいる。	自分や友達、身の回りのことについて、考えたことを表現している。	自分や友達、身の回りのことについて、気付いている。	○	○	○
	2	町のすてきな建物・人・自然や生き物に関する学習について、積極的に取り組んでいる。	町のすてきな建物・人・自然や生き物について、考えたことを表現している。	町のすてきな建物・人・自然や生き物について、気付いている。	○	○	○
	3	校区の遺産や年中行事、地域に関わる人に関する学習について、積極的に取り組んでいる。	校区の遺産や年中行事、地域に関わる人について、考えたことを表現している。	校区の遺産や年中行事、地域に関わる人について、理解している。	○	○	◎
わかる	4	地域にある遺産の保存や、発展に尽力した人物の努力や思いについて、積極的に調べようとしている。	地域にある遺産の保存や、発展に尽力した人物の努力や思いについて、考えたことを表現している。	地域にある遺産の保存や、発展に尽力した人物の努力や思いについて、理解している。	◎		○
	5	未来に残していくべき遺産の価値について、積極的に調べようとしている。	未来に残していくべき遺産の価値について考えたことを表現している。	未来に残していくべき遺産の価値について、理解している。	○	○	◎
ふかめる	6	平和学習や既習事項をもとに、地域に主体的に関わろうとしている。	平和学習や既習事項をもとに、地域について考えたことを表現している。	平和学習や既習事項をもとに、平和の大切さや地域の大切さに気付いている。	○	○	◎
	7	仕事や食を通して奈良について考え、主体的に関わろうとしている。	奈良の仕事や食について考えたことを表現している。	奈良の仕事や食の特色について理解している。		○	◎
ひろげる	8	奈良での職場体験を通して、奈良に主体的に関わろうとしている。	奈良での職場体験を通して、これからの自分の生き方や奈良について考えたことを表現している。	奈良での職場体験を通して、これからの自分の生き方に気付き、奈良の特色について理解している。	◎		
	9	奈良を発信することについて主体的に取り組んでいる。	奈良を発信する際、何を記述するか考え、それを表現している。	9年間の学びをもとに、発信すべき奈良の特色について気付いている。			◎

9年間の学びを系統だったものにする際に、「人・もの・こと」の全ての観点を学習できるように、学習の配列を考慮しました。

また、資料としてPDFファイルを添付します。これは、日本文教出版が発行している「社会科 NAVI」13号の記事です。執筆者に記名はありませんが、本稿の執筆者（山方）が執筆したものです。本校の学びの様子が伝わりやすいと思われましたので添付します。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）